



移民・難民・避難民の健康

Health of migrants, refugees and displaced persons

移民・難民及び避難民（MRDPs）は世界で最も弱い立場にある人々であり、多くの健康や保健医療に関連した課題に直面する。人々が移動する理由は、紛争、貧困、災害、都市化、権利の欠如、差別、不平等、グローバル化、及び働きがいのある人間らしい仕事へのアクセスの欠如等、さまざまである。世界で2億4,400万人以上といわれる移民の多くは自主的に、問題を伴わずに移動した人々である。しかし、一方で、迫害のリスク、紛争、食料不安、人権侵害によって、強制的に移動を余儀なくされた6,500万人以上の人がいる¹。

MRDPsは、差別、暴力、搾取、拘留、教育へのアクセスの制限あるいは完全な欠如、人身取引、栄養不良、予防医療及び／または基本的医療サービスへのアクセスの制限あるいは欠如に見舞われる可能性がある²。このような人権侵害が、MRDPsの多くが既に直面している不安定かつ不健康な生活条件に追い打ちをかけるのである。疾病や有害な健康アウトカム（アウトカム）のリスクは、MRDPsの中でも一様ではなく、移動の多様な側面に影響を受ける³。母国に関わる要因だけでなく、移動中及び亡命国・再定住国における貧困、身体的困難、ストレス、さらには法的・経済的・社会的排斥によって、個人や家族の身体的・心理的・精神的・文化的・社会的ニーズが高まる場合がある。個人、特に子どもは、強制移動の間の身体的・心理的困難に関係する心理的苦痛や心的外傷のリスクが高く、そのメンタルヘルスに短期・長期の影響を受ける可能性がある⁴。国際看護師協会（ICN）は、特にMRDPの子ども、妊婦、高齢者、身体的・知的障害を持つ個人、拷問の被害者の緊急及び長期の健康と看護ニーズに懸念を持つとともに、難民となった看護師を支援する特別な責任を負っている⁵。

保健医療へのアクセスにおける多数の障壁が特定されており、それらには、法律、保健医療制度の資源の制約、差別、官僚制、本国送還の不安、意思疎通の困難、経済的資源の欠如、羞恥／偏見、及び保健医療制度を使いこなす難しさなどがある⁶。看護師は、政策、保健医療制度及びケア現場のレベルにおいて、これらの障害をMRDPsが乗り越える手助けをする重要な役割を果たしている。看護師主導のケアモデルは、保健医療が行き届きにくい人々の保健医療サービスへのアクセスを向上させ、MRDPsの幅広い健康と社会的ニーズに対応できるホリスティック・アプローチを提供している。しかしながら、移民・難民・避難民のケアは複雑であり、質が高く、文化的に適切なケアを提供するためには、教育や継続的な研修を通じ、十分な資源を充てて、看護師を支援しなければならない。文化的に適切なケアは、人種、民族、年齢、ジェンダー、性的指向、障害、社会的地位、宗教的・精神的信条及び国籍における多様性を尊重し、差別を受けるリスクのある人々を認識し、保健医療サービスの不一致につながりうる保健医療ニーズの差異を支える^{7,8}。

ICN の所信及び勧告

看護の世界的な声として、ICN は、以下を表明する。

- 「ICN 看護師の倫理綱領」に則り、MRDPs に対する看護ケアは、年齢、皮膚の色、信条、文化、障害や疾病、ジェンダー、性的指向、国籍、政治、人種または社会的地位を理由に制約されてはならないことを確信する⁷。
- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ及び公平な保険制度の原則が、法的地位に関わらず、その国に現実に居住するすべての個人及び移動中の MRDPs に適用されることを求め、法的地位によって保健医療サービスへのアクセスを限定、あるいは制約する、制約的な保健医療政策を非難する^{*9}。
- 「難民と移民のためのニューヨーク宣言」で掲げられた勧告と公約を強く支持する²。
- すべての利害関係者が、1951 年の国連「難民の地位に関する条約」及び 1967 年の同議定書、「児童の権利に関する条約」、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」に謳われた原則を尊重するよう働き掛ける^{10,11,12}。
- 法的制約に反して不法移民に対してケアを提供する看護師及び他の保健医療専門職は、個人の健康に対する人権と、自身の専門職倫理綱領に従った実践に対する責任を堅持しているのであり、処罰を受けてはならないと確信する^{8,10,11,12}。
- 個人が移動する権利及び母国に帰る権利を支持し、母国・通過国・受け入れ国に対して、多様性、経済成長、保健医療制度の強化、及び二国間・多国間の連携の改善の諸分野で移民が有益な貢献を果たすと認識する。
- MRDPs を受け入れる国々、及び MRDPs、特に脆弱な立場の人々の基本的人権を尊重・保護し、社会正義と平等を推進し、自立と回復を確立・持続させるための国内・国際レベルでの政府機関・非政府機関のプログラムを認知し、支援する。
- 「世界人権宣言」と「ICN 看護師の倫理綱領」に則り、MRDPs を含む患者の個人情報に接する看護師及びすべての者は、他者の健康または安全に重大な害を及ぼす相当のリスクを含む情報を開示する倫理的義務がある場合を除いては、個人情報が厳密に保護されるようなしなければならないと考える^{7,9,13}。

ICN は、各国看護師協会（NNA）に各国政府と連携して以下を行うことを奨励する：

- 各国の状況において、MRDPs の緊急及び長期の健康と看護ケアニーズに取り組む協働行動をとり、特に、性とリプロダクティブヘルスの課題、年齢に関連する脆弱性、ジェンダーに基づく暴力、及びメンタルヘルスを優先させる⁵。

* この勧告を支持することに加え、ICN は、文書「変動的な状況にある移民の保健医療サービスへのアクセスに関する勧告：ひとつの専門家コンセンサス（Recommendations on access to health services for migrants in an irregular situation: an expert consensus）」⁹で提示された、そのほかすべての勧告を支持する。

- 市民の支援を獲得するため、MRDPs が直面する健康上の脆弱性と保健医療に関する問題に対する市民の認識を強化する。
- MRDPs に適切で質の高い保健医療サービスを提供する、移民に配慮した保健医療政策を策定し、その達成に向け十分な財源を提供するよう、政府及び議会に働きかける。
- MRDPs に特有の身体的・精神的な健康課題及び看護・保健医療ニーズの特定及び対応する、健康と保健医療に関するデータを収集・追跡・評価するための人道的かつ文化的配慮のある取り組みを支援する。
- 地元団体・国内団体・国際団体と連携し、緊急対応策や定住プログラムの策定及び実施における看護師の役割を最大限に活かし、緊急、基本的及び継続的な保健医療・社会福祉サービスに必要な資源を動員する。
- 登録前看護教育及び継続教育に人口の移動に関する健康課題を取り入れる。これには、文化やジェンダーに配慮する研修や、MRDPs に特有のニーズ、当該国の法的義務に関する研修を含む⁶。

ICN は臨床家、教育者、研究者、政策に影響を与える者または幹部としての役割をもつ個々の看護師に対して、以下を要請する：

- 自身の文化的コンピテンシーを開発・強化し、すべての患者グループへのケア提供にこれを取り入れる。
- MRDPs が利用可能な医療サービスを自ら特定し、アクセスできるなど、受け入れ国の保健医療制度をうまく使いこなせるよう力づけ、それを支援する⁶。
- MRDPs とその家族に対し、その身体的・心理的・精神的・文化的・社会的ニーズや課題の相互関連性を認識し、倫理的で、意思を尊重し、文化的に配慮した、尊厳あるケアを提供する。
- MRDPs の身体的・心理的・精神的・文化的・社会的ニーズに関連する諸問題の理解を深め、保健医療サービスの提供を改善できるようなエビデンス構築に貢献する研究に関与し、この研究を推進するための一貫した、比較可能な指標の策定を支援する。
- この問題に特化した地域・国内・国際組織が行う、MRDP の権利と社会経済的、健康及び保険医療のニーズに対応するための取り組みを擁護し支援する。

1983 年採択

1992 年、2000 年、2006 年及び 2018 年見直し・改訂

参考資料

1. United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR). Global trends: Forced displacement in 2015 [Internet]. Geneva: UNHCR; 2016 [cited 2017 Apr 26]. Available from: <http://www.unhcr.org/statistics/unhcrstats/576408cd7/unhcr-global-trends-2015.html>
2. United Nations. General Assembly resolution 71/1, New York Declaration for Refugees and Migrants, A/RES/71/1 [Internet]. New York: United Nations; 2017 Oct 3 [cited 2018 Jan 3]. Available from http://www.un.org/en/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/RES/71/1
3. World Health Organization. Sixty-first World Health Assembly: Resolutions and decisions: annexes. Proceedings of the Sixty-first World Health Assembly, 19-24 May 2008, Geneva [Internet]. Geneva: World Health Organization; 2008 May [cited 2017 Apr 26]. Available from: http://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA61-REC1/A61_REC1-en.pdf
4. Bronstein L, Montgomery P. Psychological distress in refugee children: a systematic review. Clin Child Fam Psychol Rev [Internet]. 2011 Mar [cited 2017 Apr 26];14(1):44-56. Available from: DOI: 10.1007/s10567-010-0081-0
5. World Health Organization. Stepping up action on refugee and migrant health: Outcome document of the High-level Meeting on Refugee and Migrant Health 23-24 November 2015 Rome, Italy [Internet]. Geneva: World Health Organisation; 2015 [cited 2017 Apr 26]. Available from: http://www.euro.who.int/__data/assets/pdf_file/0008/298196/Stepping-up-action-on-refugee-migrant-health.pdf
6. Hacker K, Anies M, Folb BL, Zallman L. Barriers to health care for undocumented immigrants: a literature review. Risk Manag Healthc Policy [Internet]. 2015 Oct [cited 2017 Apr 26];8,175–183. Available from: DOI:10.2147/RMHP.S70173
7. International Council of Nurses. The ICN Code of Ethics [Internet]. Geneva: International Council of Nurses; 2012 [cited 2017 Apr 26]. Available from http://www.icn.ch/images/stories/documents/about/icncode_english.pdf
8. UN General Assembly. International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights [Internet]. New York: United Nations; 1966 Dec 16 [cited Apr 26];993, 3. Available from: <http://www.refworld.org/docid/3ae6b36c0.html>
9. Ingleby D, Petrova-Benedict R. Recommendations on access to health services for migrants in an irregular situation: an expert consensus [Internet]. Brussels: International Organization for Migration (IOM) Regional Office Brussels, Migration Health Division;2016 [cited 2017 Apr 26]. Available from: http://equi-health.eea.iom.int/images/Expert_consensus_Recommendations.pdf

10. UN General Assembly. Convention relating to the status of refugees [Internet]. New York: United Nations;1951 Jul 28 [cited 2017 Apr 26]. Available from: <http://www.unhcr.org/3b66c2aa10>
11. UN General Assembly. Convention on the rights of the child [treaty series on the internet]. New York: United Nations;1989 Nov 20 [cited 2017 Apr 26]. Available from: <http://www.ohchr.org/EN/ProfessionalInterest/Pges/CRC.aspx>
12. UN General Assembly. Convention on elimination of all forms of discrimination against women [Internet]. New York: United Nations;1979 Dec 18 [cited 2017 Apr 26]. Available from: <http://www.ohchr.org/Documents/ProfessionalInterest/cedaw.pdf>
13. UN General Assembly. Universal declaration of human rights [Internet]. New York: United Nations;1948 Dec 10 [cited 2017 Apr 26]. Available from <http://www.un.org/en/universal-declaration-human-rights/>

本文書の無断複製、無断転載及び他言語への無断翻訳を禁ずる。本文書のいかなる部分も、国際看護師協会の文書による許可なしに、印刷、コピーまたはその他の方法により複製すること、情報検索システムに保存すること、何らかの形式により伝送すること、または販売することはできない。短い引用（300語未満）は、出典を記載すれば許可なく複製しても良い。

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in a retrieval system, or transmitted in any form, or sold without the express written permission of the International Council of Nurses. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated.

Copyright © 2009 by ICN - International Council of Nurses
3, place Jean-Marteau, 1201 Geneva, Switzerland

2018年（公・社）日本看護協会訳